

## 施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
3 -	自然環境の保全を推進する	環境部、まちづくり政策部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
里山保全活動への参加者数(年間)	人	468	62				470
環境学習への参加者数(年間)	人	1,804	19				2,000
関連事業							
里山保全推進事業 環境活動促進事業 西部丘陵地域資源まちづくり支援事業 生物多様性保全推進事業							
決算額							
		2年度	3年度	4年度	5年度		
事業費(千円)		7,146					
執行率(%)		83.76					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>「環境啓発活動の推進」</p> <p>環境ファンクラブ会員によるパネル展示を実施するとともに活動発表会をオンラインで開催しました。また、こども環境教室として、海岸編(参加者19人)を開催し、環境意識の向上を図りました。</p> <p>「里山保全活動の推進」</p> <p>里山保全協議会により下草刈りや樹木の伐採を行うなど、里山の整備・管理を行うとともに、県条例に基づき認定されている市民活動団体を県と支援し、里山の保全・再生を推進しました。また、「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」をモデルとして、地域資源である里地里山を保全再生するための検討を産官学民の協働で進めており、過年度に実施したニーズ調査や現況調査などの結果をもとに、協議会と意見交換を行いました。</p> <p>「生物多様性の保全」</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、ひらつか生物多様性推進協議会により、</p>							

元年度の動植物の調査のフォローアップをしつつ、水域調査として相模川や金目川、海岸等の調査を実施しました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>「環境啓発活動の推進」 様々な市民に働きかけ、環境問題への関心を高め、意識の向上を図るとともに、情報発信の在り方や新しい生活様式に対応した環境教育の在り方を検討する必要があります。</p> <p>「里山保全活動の推進」 里山保全活動は、モデル事業の継続と、より地域に密着した取組として展開する必要があります。また、西部丘陵地域の恵まれた自然の保全及び地域の活力向上を図るため、引き続き、地区全体の魅力を発信する仕組みづくり、農業や里山など地域資源を活かした構想づくりの検討を進めていく必要があります。</p> <p>「生物多様性の保全」 生物の生息・生育空間の連続性や適切な配置に配慮する必要があります。</p>	<p>「環境啓発活動の推進」 事業の周知方法を継続的に見直すとともに、事業内容の充実を図ります。また、こども環境教室のプログラムや手法も社会情勢に合わせて検討し、効果的な環境教育を推進します。</p> <p>「里山保全活動の推進」 生物多様性の保全を意識した活動と、里山に関する情報を発信することで市民の関心を誘発し、市民主体の里山保全活動を促進します。また、地元協議会から提案された吉沢地区の将来に向けた構想の考え方をもとに、平成31年度に実施した基礎調査結果を踏まえ、引き続き、協議会や学術機関などと連携して、構想づくりの検討を進めます。</p> <p>「生物多様性の保全」 本市の特徴的な自然環境を有機的につなぐことができるよう、市民や事業者等と連携し、生態系のネットワークを形成することで、生物多様性の保全を図ります。</p>